

第2回
第三中学校区における市立小中学校の適正配置等に関する懇談会
まとめ

内容

1. 第三中学校区の望ましい学校適正配置について（5年後）
 - （1）回答まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
 - （2）個別回答まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～7 ページ
2. 第2回 懇談会でいただいた ご意見・ご質問等への回答・・・・・・・・・・ 8 ページ
3. 第2回 懇談会以降にいただいたご意見・ご質問・要望資料・提案資料等について
 - （1）ご意見・ご質問・要望資料等への回答（事務局へのご要望）・・・・・・ 11 ページ
 - （2）提案資料について（懇談会参加者作成資料）・・・・・・・・・・・・・・・・ 21 ページ

1. 第三中学校区の望ましい学校適正配置について（5年後）

第2回懇談会では、参加者の皆さま同士での意見交換を踏まえて、5年後の望ましい学校適正配置について、一人ひとりお考えいただき、ご意見とともに用紙に記入いただきご提出いただきました。

望ましいと思う学校適正配置については、複数ある配置案の中から、良いと思う配置案を上位3案まで、ご回答いただきました。（回答は最も良いと思う配置案1案や、良いと思う上位2案だけでも可）

以下に、その結果を取りまとめています。

（1）回答まとめ ～5年後の望ましい学校適正配置案について～

	1 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数	2 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数	3 番目に 望ましいとお答えい ただいた方の人数
配置案（1）	20	1	0
配置案（2）	0	0	1
配置案（3）	0	0	0
配置案（4）	0	2	0
配置案（5）	2	3	0
配置案（6）	0	0	1
配置案（7）	0	0	0
配置案（8）	0（1）	2	0
配置案（9）	0	0	0
配置案（10）	0	0	0
配置案（11）	0	0	0
配置案（12）	0	0	0
配置案（13）	0（1）	0	0
配置案（14）	0	0	0
配置案（15）	4	1	1
配置案（16）	0	0	0
配置案（17）	0	0	0
配置案（18）	0（1）	0	0

※「1番目に望ましいとお答えいただいた方の人数」に記載の（ ）書きについては、第8案・第13案・第18案を並列で、1番望ましいとご回答いただいた方の、回答結果を表しています。

(2) 個別回答まとめ ～5年後の望ましい学校適正配置案について～

参加者の皆さまが望ましいと考えられた配置案の番号とご意見を一人ひとりまとめた結果です。ご意見は匿名での公開としています。

【1】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

5年程度の将来では、まだまだ現状と変わることもなく、又、変える必要もないと思います。今現在、一中校区の統合で通学路が問題になっていると思いますが、小中一貫校を進めていく際には、通学路の整備も並行して進める必要があると思います。

【2】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	第5案	3番	記載なし
----	-----	----	-----	----	------

■ ご意見

地域や子どもの現実から、こういう問題があるから、小中一貫教育が必要であるというのわかりにくい。こういう地域社会を築くにはこういう力を育てないといけないという将来の子ども像を明確にした上で議論（適正とか配置）をした方がいいと思います。

【3】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第15案	2番	第8案	3番	記載なし
----	------	----	-----	----	------

■ ご意見

- ・ 凌風小中学校を見学して、4-3-2年制の流れに感心した。
- ・ 15案での通学距離が長くなるので安全面が心配。

【4】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	第8案	3番	第15案
----	-----	----	-----	----	------

■ ご意見

記載なし

【5】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

5年後は第1案かと思います。子ども達の事をまず考え、今回の懇談会をこれで終わらず定期的に開催していただきたいです。今回5年後、10年後と配置案を記入していきますが、2年後、3年後などその年、その年でこのような話し合いをしていただければと思います。

【6】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

生徒数の推移及び施設保全是今後10年後は耐え得るため、第1案で一貫教育をすすめる。将来的に施設統合を行うために10年の間に土地建物を確保する作業を同時進行ですすめる。

【7】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

将来は15案の施設一体型小中一貫校を目指したい。当面の5年間は児童生徒数の大幅な減少もなく建物の安全性も確保できそうなので、現状の1案を意見提起します。

【8】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

次回の懇談会は交流の時間よりも質問を多くとってください。よろしくお願ひいたします。

【9】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第5案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

- ・ 経済的な要素がわからないので、建替費用のことを教えていただきたい。
- ・ 建替の期限、いつまでに建替が必要なのか、タイムスケジュールを教えてください。

【10】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

5年後はスパンが短すぎるので、現実的に統合はむずかしいと思われます。授業内容などは、小中一貫で考え、配置は現状のままが良いと思われます。

【11】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第15案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	------	----	------	----	------

■ ご意見

記載なし

【12】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	第5案	3番	記載なし
----	-----	----	-----	----	------

■ ご意見

- ・子どもたちにとってよりよい環境づくりを考えて、学校の規模を考えてほしい。（見学した京都の学校のように）
- ・学校だけの問題ではなく、地域を含めた問題だと思う。（地域での話し合いを複数回持って諸問題について考えてほしい。）
- ・通学路の問題をしっかりと考えて適正化を考えて欲しい。
- ・今の学校を補修しながら小中分離型の小中一貫教育が望ましいと思う。

【13】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

子どもの意見を聞く機会をもうけてほしい。

1,100人規模の施設一体型小中一貫校は規模が大きすぎてメリットが反映されてこないの
で、一体校にするなら、一貫校を2校にした方が良いと思いました。例えば、三中敷地と
星小敷地につくり校区を再編成するとか。その方が一貫校の効果も出るし、通学路もそれ
ほどのびません。そして、一中校区の学校がどうなるかの検証が出てこないとわからない
部分も多いと思います。

「小中一貫教育の実証的検証」という本が出ています。その内容は大規模校にするこ
のデメリットも出ているので、そのあたり共有できると本来の学校規模適正についての考
えの材料になると思います。

参考資料に（6）小中一貫教育等についての実態調査の結果とありますが、この中の「満
足度が高まった」とか「中一ギャップ」が緩和されたなどのデータがありますが、これは
どのように出しているのでしょうか。校長とか教頭への聞き取りですか（主観）どのよう
にしてデータをとるとかあったのでしょうか。H26のものですが、新しいデータもある
のですか？

【14】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第15案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	------	----	------	----	------

■ ご意見

配置案を見ましたが、学校側、教育委員会側の意見を聞いてみたいです。実際現場にいる
方々の意見を知りたいです。

【15】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

- ・5年後に人口の動態を分析して判断するしかないのかな。
- ・参考資料に対して意見がありましたので、市民の意見に対して市側のタイムリーな返答
があればうれしい。

【16】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

記載なし

【17】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

今回はじっくり話し合う時間を取って頂きありがとうございました。資料もたくさんこまかい所まで示して頂き、考える情報が多く有難いです。5年後といえはもうすぐの未来。星田北エリアの人口増も藤が尾小校区との事です。旭小エリアでは、住宅開発もあり、やや子どもの増加があるように思います。5年後は現状のままで、しかしながら、もっと先には少子化になると思われるので、小中統合についての議論は、行政、学校、保護者、地域を大いに巻き込んで活発にして、住民の意識を高めて、未来の学校を良くしていくすべにしたいと思います。

【18】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

5年後は今の現状からして変えることはできないかなと思います。10年後、20年後は子供の人数、建物の老朽化などで、一番いい状態になっていけばいいなと思います。

【19】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

- ・小中一貫を明確にする事。他の施設を入れるな。
- ・統合後の廃校の処分も思い切って出来るよう資金の裏付けがほしい。
- ・地域別懇談会をすべき。
- ・交通網（道路網整備の整備をすること）
- ・放課後の学校の使い方を根本的に行う方式が必要。

【20】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第5案	2番	第4案	3番	記載なし
----	-----	----	-----	----	------

■ ご意見

- ・そもそも「適正配置」の基準をどこに置けばいいのかわからない。「人数」にしぼるのであればただの計算でできるはず。数字で割り切れない気持ちは反映されるのでしょうか。
- ・お金の話はさけて通れません。その前提は判断の大きなファクターにあると思います。

【21】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第15案	2番	第5案	3番	第6案
----	------	----	-----	----	-----

■ ご意見

小中一貫や配置も重要であるが、地域（地区）と中学校校区を一致させることがより重要である。現案では、星田区の北側（星田北地域）が四中校区となっており、今後、反発が起き理解が深まらないのでは。なぜ三中校区から外すか説明が必要と考える。個人的には適正配置や小中一貫校には賛成だが、この1点で提示案にはどれも納得できない。

【22】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	記載なし	2番	記載なし	3番	記載なし
----	------	----	------	----	------

■ ご意見

ごめんなさい。特に意見ありません。

【23】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

記載なし

【24】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	第15案	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

後日提出

【25】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

5年では、学校配置を変更するのは不可能。10年、20年と言わずに経済的な面も考えながら進めるべきだと考えます。今の現状では、まず、小中一貫の教育を見すえて、「4・3・2」の教育を確立させてから、小中一貫にするべきだと思います。もちろん、通学路の問題など様々な問題が出てくるかと思いますが、子どもたち、保護者の意見に耳をかたむけ、議論しないといけないと思いました。

【26】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	記載なし	2番	第1案	3番	第2案
----	------	----	-----	----	-----

■ ご意見

記載なし

【27】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	記載なし	3番	記載なし
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

・市との意見交換の時間が必要。
・通学路部会、地域協働部会の早期立ち上げ。各案の通学路案（とりあえず）。現在の危険箇所の公表と通学路

【28】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第8案	1番	第13案	1番	第18案
----	-----	----	------	----	------

■ ご意見

小中一貫には、基本的には反対ですが、いろいろな事を考えると（建物の老朽化や通学路など）1ヶ所に集まる方が一番良いかなと思います。

※第8案、第13案、第18案の3案を、最も望ましい配置案としてあげられました。

【29】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	第1案	2番	第4案	3番	記載なし
----	-----	----	-----	----	------

■ ご意見

全ての案に言えますが、正解はなく、統合することにより必ずデメリットがあります。このデメリットをどれだけ多く聞いて対応するかどうかだと思います。また、交野の財政が厳しいなら、何か対策はされていますか？財政が確保できれば先生をへらさなくて四校維持することが出来るのでは？子育て世代に対しての対応が他の市に比べておけている。
※通学路に関して一番遠い所から歩いてみて下さい。

【30】さん

■ 望ましいと考えた配置案（5年後）

1番	記載なし	2番	記載なし	3番	記載なし
----	------	----	------	----	------

■ ご意見

そもそも第1回懇談会で「どんな子どもになってほしいか」について意見交換し、第2回でいきなり18の適正配置案を示され、5年後の学校としてどの案がよいかを話し合えとはいささか乱暴ではないか。
懇談会のコンセプトがよくわからない。また、行政の考え方もよくわからない。ここで意見を言い合うだけで、交野の未来の学校につながるだろうか。

2. 第2回 懇談会でいただいた ご意見・ご質問等への回答

Q1. 本日（第2回懇談会）は何故5年後だけの「1」「2」「3」※1を求めたのですか？

5年後、10年後、20年後の意見を求めたらいいのではないですか？

A1. 複数回にわたって、第三中学校区の望ましい学校適正配置について、お考えいただくにあたり、比較的イメージしやすいと考えられる近い将来の学校適正配置ということで、第2回では、5年後の学校適正配置についてお考えいただきました。

第3回では、10年後、20年後についても、お考えいただき、ご意見をお聞かせいただきたいと考えております。

※1「1」「2」「3」とは、良いと思う配置案のこと。第三中学校区の望ましい学校適正配置をお考えいただくにあたり、提出用紙の配置案番号に良いと思う順に「1」「2」「3」をご記入いただきました。

Q2. 適正配置の基準をどこにおけばいいのかわからない。「人数」にしぼるのであれば、ただの計算でできるはず。数字で割り切れない気持ちは反映されるのでしょうか。

A2. 学校適正配置を考える上では、多くの友達をつかってほしい、様々な考え方に触れてほしいということから学校規模を重視する考え方、のびのび育ててほしいということで施設面積（一人当たりの面積）確保を重視する考え方、学校までの通学距離や通学の安全性を重視する考え方、学校と地域の協働が重要だという考え方など様々な考え方があります。

この懇談会では、人数は〇〇人以上〇〇人以下でなければならないであったり、通学距離は〇〇m以下でなければならないといった条件は特に設けておりません。皆さまがお住まいの地域である第三中学校区について、皆さまのこれまでのご経験やそれぞれの視点から最も望ましいと思う学校適正配置について、自由にお考えいただきご意見をお聞かせいただきたいと考えています。

なお、交野市学校教育審議会では、第2回懇談会前に送付させていただきました資料「参考資料」11ページに記載の“7つの基本的な考え方”をもとに、第三中学校区を含めた交野市の各中学校区の学校適正配置について検討を行っていますので、ご参考としていただければと考えております。

（また、“7つの基本的な考え方”については、すべて重要な考え方ですが、特に「参考資料11ページの①②」に記載のある「学校規模適正化基本方針」に記載の適正な学校規模を（将来にわたって）確保することと、適正な通学距離の範囲内となるよう

に学校配置を考えることは、学校適正配置を検討する上で基本的な部分と考えております。)

Q3. 参考資料に(6)小中一貫教育についての実態調査の結果(26~30ページ)とありますが、この中の「満足度が高まった」「中一ギャップが緩和された」などのデータがありますが、これはどのように出しているのでしょうか。
データはH26のものですが、新しいデータもあるのですか?

A3. 全都道府県、全市区町村、小中一貫教育を実施している全国の国公立小中学校を対象に、文部科学省が調査票によるアンケート調査を実施した結果を取りまとめたもので、参考資料でお示ししているのは調査結果の一部です。

以下のURLからその他の調査結果もご覧いただけます。

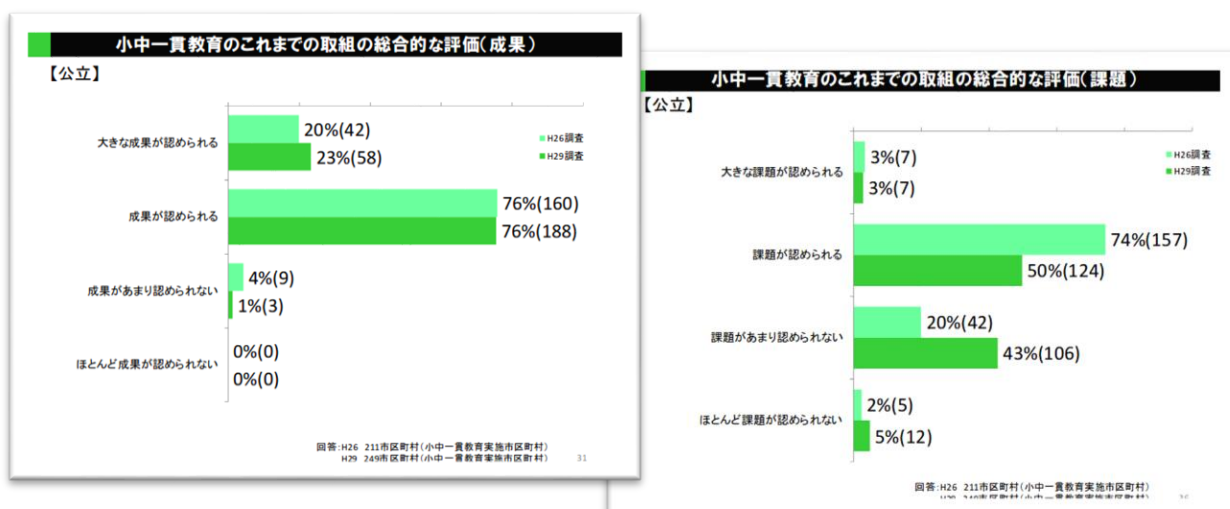
[https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/ikkan/1369584.htm]

上述の調査ように、小中一貫教育等の実態調査を目的とした大規模な調査は、文部科学省では平成26年度以降行われていないと認識しています。

また、上述の調査とは調査目的が異なりますが、文部科学省では平成29年3月1日時点で、小中一貫教育の導入状況調査についての調査結果を以下に取りまとめています。

[https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/ikkan/1395183.htm]

※導入状況調査ですので、調査項目等はだいぶ異なりますが、小中一貫教育を実施している市区町村を対象にした調査結果では、平成26年度調査との比較があります。



※出展:「小中一貫教育の導入状況調査について」(文部科学省)

(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/ikkan/_icsFiles/afiedfile/2017/09/08/1395183_01.pdf)

Q4. 経済的な要素がわからないので、建替費用のことを教えていただきたい。

建替の期限、いつまでに建替が必要なのか、タイムスケジュールを教えてください。

A4. 追加資料をご用意させていただきます。 ⇒ 追加資料4

Q5. 交野の財政が厳しいなら何か対策はされていますか？

財政が確保できれば先生をへらさなくて四校維持することが出来るのでは？

A5. 市の財政に係る取り組みや対策等については、市教育委員会からの回答は控えさせていただきますが、市教育委員会におきましても交野市財政運営基本方針における財政規律の確保に向けた取り組みを進めています。

また、第三中学校区の学校適正配置として、今後も4校を維持することが望ましいとの方向性が定まれば、4校の維持更新に向けた財源の確保を行う必要があると考えております。

なお、教員数は、各学校の学級数に応じて決定されるため、少子化により各学校の学級数が減少すれば、4校を維持した場合でも教員数は減少します。

少子化の影響で1校当たりの学級数が減少することは、教員数が減少することにもつながり、小規模校では、教員同士での指導技術の伝達や継承が困難になるなどの課題が生じることも考えられますので、市教育委員会としては、適正な学校規模の確保が重要であると考えています。

3. 第2回 懇談会以降にいただいた

ご意見・ご質問・要望資料・提案資料等について

(1) ご意見・ご質問・要望資料等への回答（事務局へのご要望）

第2回 懇談会において、参加者から事務局に提示してほしい資料やご意見などがあれば、10月15日（金）までに、ご提出いただくようお願いをさせていただきました。

その結果、以下のとおりご意見・ご質問・資料要望等をいただきましたので、回答いたします。参加者の皆さまのご意見は網掛けでお示ししています。

なお、ご意見を提出いただいた方は3名でした。

以下、ご意見等（網掛け部分が参加者の方のご意見等）

・星田小学校において子どもが通っている学童においては年々増加しています。

そんな中将来、子どもの人数が減少するという納得できる資料の請求をお願いいたします。

追加資料をご用意させていただきます。 ⇒ 追加資料2

資料の要点のみまとめますと、ご指摘のとおり、放課後児童会の在籍児童数は近年増加傾向にあります。しかし、これは星田小学校の児童数が増加したことを表しているのではなく、平成27年度以降、5・6年生も放課後児童会に入会可能になったことや、近年放課後児童会への加入率が上昇傾向にあることが、放課後児童会在籍児童数の増加に結び付いているものと考えられます。

・2小学校統合、及び、3小学校統合の時の総学級数の減少数、総学級数減少による教員減の数と、教員一人当たりの担当生徒数平均の変化を表す資料請求。

理由：教員一人当たりの担当生徒数が増えれば先生、子供ともに教育環境が悪くなるため

追加資料をご用意させていただきます。 ⇒ 追加資料3

詳細は追加資料3をご覧くださいなのですが、以下に一例をお示しします。

(例1) 2小統合の場合

- ・20年後に星田小学校と妙見坂小学校が統合する場合の変化
(配置案(2)(3)のことです)

(20年後)	①統合しない場合 (星小と妙小の合計)	②統合する場合 (星小と妙小の統合校)	①と②の差 (① - ②)
総学級数	18学級	18学級	増減なし
教員数	24人	22人	2人減
教員一人当たりの児童数	約21.5人	約21.5人	増減なし

※教員一人当たりの児童数は、管理職を除いた教員数を基に算出しています。

詳細は追加資料3の4ページに記載しています。

(例1) 3小統合の場合

・20年後に星田小学校と妙見坂小学校と旭小学校が統合する場合の変化

(配置案(11)～(13)のことです。配置案(15)～(18)も同様)

(20年後)	①統合しない場合 (3小の合計)	②統合する場合 (3小の統合校)	①と②の差 (① - ②)
総学級数	27学級	25学級	2学級減
教員数	36人	30人	6人減
教員一人当たりの児童数	約20.8人	約22.3人	約1.5人増

・今回の3中校区懇談会および小中一貫校への交野市民への広報周知はどのようにされたか？その広報チラシがあれば、その資料請求。

理由：交野市民の税金を使い、自然環境、教育環境への変化の可能性があり、交野市民全体へ周知すべき施策のため

【三中校区懇談会について】

・開催状況等については、現在以下の方法で周知を行っています。

①市HP (<https://www.city.katano.osaka.jp/docs/2021050700021/>)

②おりひめすこやかナビ(市HPへのリンクを掲載)

③懇談会だより(第1号～)の配布・配架

配布先：星田小・妙見坂小・旭小・第三中学校の全保護者・教職員

第三中学校区の全地区において回覧



↑市HP

配架先：星田会館

- ・公募参加者の募集については、以下の方法で周知を行いました。

①市 HP (<https://www.city.katano.osaka.jp/docs/2020120900026/>)

②おりひめすこやかナビ（市 HP へのリンクを掲載）

③市広報紙（2回掲載 令和3年2月・5月広報）

④懇談会だより（準備号）の配布・掲示・配架

配布先：星田小・妙見坂小・旭小・第三中学校の全保護者・教職員

掲示先：各地区の掲示板に掲示

配架先：星田会館

※なお、広報チラシにつきましては、三中校区の懇談会に係る市 HP（12ページに記載の QR コード）のページ下部にあります「懇談会だより」をご覧ください。

【小中一貫校について】 ※第一中学校区の小中一貫校について、ということで回答しています。

第一中学校区の新しい学校づくりについては、小中一貫校を設置するという方向性を定める前後で、地域懇談会、地域協議会、開校準備委員会など多くの場を設けています。また、必要に応じて、市民説明会や報告会を開催し、ご要望を受けての意見交換会も開催させていただきながら進めております。

これらについて、市民の皆様にご理解いただくため、市 HP、市広報紙、各種チラシの作成・配布、ポスター掲示などそれぞれ様々な方法で広報周知をしてきました。例えば、新しい学校づくりを含めた教育行政について市民の皆さまにご理解を深めていただくために開催している講演会や、市民説明会では周知の方法も異なりますので一概には申し上げられませんが、現在、第一中学校区の新しい学校づくりに向けて開催している開校準備委員会を一例としてお示しさせていただきます。

<開校準備委員会の広報周知方法>

- ①市 HP ※開校準備委員会の開催状況等をまとめた記事の他、進捗に合わせて複数の記事を作成・公開
- ②おりひめすこやかナビ（市 HP へのリンクを掲載。その他進捗に合わせて記事を掲載）
- ③市広報紙（校名案の募集や決定報告等、必要の都度、複数回掲載）

④開校準備委員会だよりの配布・掲示・配架

配布先：第一中学校区の各学校の全保護者・教職員

第一中学校区にある公立・私立の保育園・幼稚園・こども園の全保護者
第一中学校区の各地区で回覧

掲示先：市内すべての公立・私立の保育園・幼稚園・こども園

配架先：市役所、いきいきランド、ゆうゆうセンター、交野青年の家、倉治図書館、
幾野図書館、星田会館、市子育て拠点4か所

⑤ポスター掲示（校章デザイン案募集時）

・この懇談会だけの意見ではとても交野市民の声を反映できません、これから関係のある子作り世代、地域住民、教職員の意見を反映させて、交野市民の多くが納得できる答えを出していくべき。

この懇談会には、市PTA協議会・第三中学校区の各学校のPTA・第二認定こども園PTA、第三中学校区の6地区の区長、第三中学校区の各学校の学校評議員、市こども会育成連絡協議会、青少年指導員会、校区福祉委員会、民生委員・主任児童委員、公募市民などの皆さまにご参加いただいております。市民の皆さま全員というわけにはいきませんが、第三中学校区内の各地域で、日ごろから第三中学校区の教育行政に様々なかたちでご支援・ご協力をいただいている皆さまのご意見をお伺いすることのできる場として、非常に期待しています。

また、現在どうかたちになるかはまだ決まっておりますが、これからの第三中学校区の学校づくりや施設整備にあたっては、この懇談会だけでなく、今後も市民の皆さまのご意見をお聞かせいただきながら、進めていく必要があると考えています。

・第二回3中校区懇談会（10月1日（金））においては5年後にどのような形の案で統廃合したらよいかの提出をしました。第三回目は10年後、20年後の予定であるが、今の時点でそこまで予想ができず、統廃合ありきで一方的な懇談会だと思う。

まずは現状の、各小中学校（妙見小、旭小、星田小、三中）がかかえている教育、環境に対する問題を提示して欲しい。あわせて、すでに統廃合が決まっている第一中学校区で起こっている問題点を提示して欲しい。

現在、第三中学校区の学校施設は、すべての学校が建築後40年以上経過しており、施設更新の時期を迎えています。（特に、星田小学校では令和2年度時点で築後59年を経過し

た校舎があるなど、施設老朽化が大きな課題となっています。)

学校施設の更新は、建替えの他、長寿命改修工事や大規模改修工事など、様々な更新方法が考えられますが、いずれの場合においても、工事には多額の費用がかかることから、施設の今後の使用年数等を加味しながら、施設更新の方法（どのような改修工事を行うのか）を決定していく必要があります。

例えば、多額の費用を投じて学校施設の建て替え工事を行ったものの、わずか10年後には子どもの数が減り、適正規模を確保できなくなってしまったために、近くの学校と統合して、また新しい学校を建てるといった場当たりの施設更新は、財政負担が非常に大きく望ましいとは考えられません。

したがって、第三中学校区の各学校施設が更新の時期を迎えている今、現在だけでなく将来を見通して、将来にわたって子どもたちに良好な教育環境を確保することのできる学校適正配置を考える必要があります。

つまり、学校適正配置を考えただけで、仮に10年後、A小学校とB小学校を現在のB小学校敷地にて統合する必要があると見込まれるのであれば、A小学校では今後10年間良好な教育環境を確保することのできる施設改修を行うことが適当と考えられます。そして、B小学校では10年後の統合校の開校に向けて、建替え工事や長寿命化改修工事などの施設更新を行う必要があります。

一方で、学校適正配置を考えただけで、20年後もA小学校とB小学校は統合する必要がないと見込まれるのであれば、A小学校・B小学校ともに、今後20年またはそれ以上の使用期間を見込んだ施設更新を行う必要があります。

このように、将来見込まれる学校適正配置によって、これから行わなければならない施設更新の最適な方法が変わることから、施設の更新に先立ち、将来の見通しをもって学校適正配置を考える必要があると考えています。

・小学校が統廃合されると、おのずと通学距離が長くなる児童が出てきます。「3キロを許容範囲」としているが、近くの小学校に通う予定だった児童が3キロ先へ通うとなることに対してどう思われますか？市としてもその地域には子育て世代が来なくなってしまう、かつて交野市が言っていた「子育てのまち交野」がなくなってしまうのではと懸念します。

本市では、通学距離を小学校では3kmを許容範囲としていますが、基本は2km以内としています。また、学校教育審議会において学校適正配置をご検討いただく中でも、小学校

では2kmというところを基本としています。

懇談会において、学校適正配置をお考えいただくにあたりましては、このような通学距離の面もお考えいただいた上で、どのような学校配置が望ましいと考えるのか皆さまのご意見をお聞かせいただきたいと思いますと考えています。

※学校統合を行う場合、通学距離がのびる地域があることは、学校統合のデメリットであると考えています。しかしながら、学校統合を行わない場合でも、通学距離の長い地域はあります。そのような中、長い距離を歩いて登校した学校が小規模で、良好な教育環境が確保できていなければ、それもまた、子どもたちにとっては望ましくない状態であると考えられます。したがって、学校適正配置を考える上では、学校規模だけを考えるのではなく、また、通学距離だけを考えるのでもなく、様々なことを総合的に考えていく必要があると考えています。

・この懇談会の上位に位置する「親の会」である「学校教育審議会」では、今年2月の審議会で統廃合の案を4つの案に絞られ、3月の審議会では1つの案（第15案）に絞られていますが、そのことについて今回参加している私たちに知らせず議論してくださいといわれているが、この懇談会での議論はどう扱われるのでしょうか？

理由：5年後の案を話し合いましたが、結局、審議会で絞られている案に決められていくのではと懸念します。

学校教育審議会では、現時点で望ましい学校適正配置として第15案との方向性を取りまとめいただいておりますが、この懇談会は、この第15案がよいと思うか悪いと思うかご意見をいただく場ではありません。

この懇談会は、フラットな視点から、すべての配置案を見ていただいた上で、第三中学校区の学校適正配置について、皆さま一人ひとりが、どのような配置案が望ましいと考えるのかご意見をお聞きかせいただく場としたいと考えています。

そのため、事務局としては、これまで特定の配置案が望ましいと考えるというような説明はしてきませんでした。

ご意見では、学校教育審議会が現時点で取りまとめている配置案に決められていくのではないかと懸念をされておられますが、この懇談会は、皆さま一人ひとりのご意見をお聞かせいただくことを目的とした場であり、懇談会として望ましい配置案をひとつに決めるものではありません。そのため、配置案(1)が望ましいと考える方もおられれば、配置案(2)

が望ましいと考える方もおられるかと思えます。この懇談会で皆さま一人ひとりにお考えいただきました5・10・20年後の学校適正配置やその他懇談会でいただいたご意見については、学校教育審議会に報告し、学校教育審議会にて学校適正配置を検討していただく上での参考としていただく予定です。

・30名学級を実施したときの各学級の資料

・それぞれの学校が統合した場合に先生の数がどう変化するのか

・学校教育審議会などで、子どもにとって最適な学校規模を考えるときに参考にしたような資料やデータがあれば教えていただきたいです。

以下のとおり、追加資料をご用意させていただきます。

- ・30人学級を実施したときの各学級の資料 ⇒ 追加資料1
- ・学校統合に伴う教員数の変化 ⇒ 追加資料3

また、学校教育審議会では以下を参考に適正規模について、ご検討いただきました。

・学校規模によるメリット・デメリット

(小規模な学校のメリット・デメリット、大規模な学校のメリット・デメリット)

⇒ 「参考資料」の13～15ページの資料 (学校教育審議会でも同じ資料を使用)

・他市町村の適正規模

⇒ 「参考資料」の12ページのような内容

※詳細は市HPをご覧ください。(右のQR) →



HPの上の方の「審議経過」内の「第2回」の添付資料

参考資料9～12などが参考とした資料です。また、HPの下の方の「中間答申 平成29年1月5日」には、学校規模適正化基本方針が添付されています。

なお、市教育委員会では学校教育審議会でご審議いただいた内容を踏まえて「交野市学校規模適正化基本方針」において、学校適正規模について次のように定めています。

5. 学校規模適正化の基本的な考え方（基本方針）

適正な学校規模について

学校教育を行う上で適正な学校規模を確保するのは、児童生徒の良好な教育環境の維持や教員の指導体制の充実のみならず、学校を円滑に運営するためにも大変重要なことです。国が標準としている学校規模は、小学校・中学校とも 12 学級以上 18 学級以下ですが、学校規模によるメリット・デメリットや交野市の実態を踏まえ、各市で設定されている基準も参考にし、小・中学校の接続関係にも配慮して、交野市における適正な学校規模を以下のとおりとします。

	小規模	適正規模
小学校	11 学級以下	12 学級以上 24 学級以下 (1 学年あたり 2~4 学級)
中学校	8 学級以下	9 学級以上 18 学級以下 (19 学級以上 24 学級以下 も許容範囲とする)

小学校では、一定規模の児童の中で、互いに学び、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが大切です。全学年でクラス替えを可能にしたり、学習活動の特質に応じて学級を超えた集団を編成したり、同学年に複数教員を配置するためには 1 学年 2 学級以上（12 学級以上）あることが望ましいものと考えられます。また、児童の学習活動が制約されることなく、十分な教育効果を得るためには、図書室や理科室などの特別教室が少なくとも週 1 回は使えることが望ましいので、時間割編成上、学校全体で 24 学級以下を適正規模とします。

中学校では、学習指導は教科担任制であり、教員の配置定数や学校運営の観点から学校全体で 9 学級以上は必要です。また、生徒一人ひとりの活躍する機会が確保でき、教員が生徒一人ひとりの把握がしっかりとできること、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成が図られやすいことなど十分な教育効果が期待できることから、学校全体で 18 学級以下を適正としますが、校区により児童生徒数の増加・減少の割合に差が見られることから、今後の状況変化等へも対応するため 19~24 学級についても許容範囲とします。

(交野市学校規模適正化基本方針 5,6 ページより抜粋)

・20年後の、「クラス30名学級実施」を条件にした、各学校の学級数資料

追加資料をご用意させていただきます。 ⇒ 追加資料1

・20年後の、「星田小学校と旭小学校」を統合した時、総学級数はいくらになり、統合しない時と比べて教員数はいくら減少になるのか？

・その時の、教員1名当たりの生徒数は統合しない時と比べてどれだけ増えるのか？

配置案(1)の“星小”と“旭小”部分

配置案(4)又は(5)の“新小(星+旭)”部分

(20年後)	①統合しない場合 (星小と旭小の合計)	②統合する場合 (星小と旭小の統合校)	①と②の差 (① - ②)
総学級数	18学級	17学級	1学級減
教員数	24人	21人	3人減
教員一人当たりの児童数	約20.4人	約21.4人	約1人増

※追加資料3に総学級数・教員数・教員一人当たりの児童生徒数を配置案毎にまとめていますので、そちらもご参照ください。

(次頁に続きます)

・20年後の、「3つの小学校と第3中学校」を統合した時、総学級数はいくらになり、統合しない時と比べて教員数はいくら減少になるのか？

・その時の、教員1名当たりの生徒数は統合しない時と比べてどれだけ増えるのか？

3小1中を統合し、小中一貫校を設置する場合でも、中学校部分の総学級数・教員数・教員一人当たりの生徒数は、第三中学校と変わりません。

※つまり、中学校部分はどの配置案であっても変わりありません。

(小学校部分のみ比較する場合) ※第三中学校区の小学校部分

(20年後)	①統合しない場合 (3小の合計)	②統合する場合 (3小の統合校)	①と②の差 (① - ②)
総学級数	27学級	25学級	2学級減
教員数	36人	30人	6人減
教員一人当たりの児童数	約20.8人	約22.3人	約1.5人増

(小学校部分と中学校部分をあわせて比較する場合) ※第三中学校区全体

(20年後)	①統合しない場合 (3小と三中の合計)	②統合する場合 (3小と三中の統合校)	①と②の差 (① - ②)
総学級数	39学級	37学級	2学級減
教員数	57人	51人	6人減
教員一人当たりの児童生徒数	約18.9人	約19.7人	約0.8人増

(2) 提案資料について（懇談会参加者作成資料）

第2回 懇談会において、第3回懇談会で提案したい資料などがあれば、10月15日(金)までに、ご提出いただくようお願いをさせていただきました。

その結果、別添のとおり3名の方から、ご意見・ご提案をいただきましたので、ご報告いたします。

なお、ご提出いただいた資料等については、第3回懇談会にて提出者の方からご説明いただく予定としています。(提出者の方が説明は不要ということであれば、説明はありません。)